

SATELLITE 2022[®]

Creating Opportunity. Expanding Horizons.

目次

概要	1
感想・分析	1
主な講演	2
展示・会場にて	2
ちよつと一言	2

概要

2022 年 3 月 21 日(月)~24 日(木)の 4 日間、米国ワシントン DC の Walter E. Washington Convention Center にて Satellite 2022 が開催された。このコンファレンスはもともと通信衛星を中心としたコンファレンスとして世界最大級のものであり、とくに商用通信衛星および衛星通信の業界人が一同に会する重要なイベントである。今年のメインテーマは、「Creating Opportunity. Expanding Horizons.」であった。

感想・分析

このコンファレンスは、2 年前の 2020 年に同時期に開催されたものの、COVID-19 の感染拡大を受けて会期の途中で中断するという異常事態を経験して

いる。2021 年も一応開催はされたものの、時期をずらしかつ規模を縮小したものだっただろう。このため実質 2 年ぶりのコンファレンスとなり、オープニングの際の司会者の最初の一言が、Welcome back! and Well survived! と無事を確認しあう言葉であったのが象徴的であった。

今回筆者が参加するにあたり目的を"Reunion"、この 2 年間直接会えなかった人的ネットワークの再構築とした。このためコンファレンスの講演・セッションには 2 つしか出席せず、残りはすべて一対一のミーティングおよび展示会視察で終始した。

従来 Satellite コンファレンスは衛星通信・通信衛星を主としたイベントであり、講演・展示も Intelsat

やSESなどの衛星通信オペレータ、BoeingやAirbusなどの大手通信衛星製造メーカーが中心となっていた。これに対して今年は大手の通信衛星関連企業ももちろん参加していたが、それ以外に SmallSat のオペレータ、Geo-Intelligence を中心とした地球観測、ロボティクスなどを使った軌道上サービス、宇宙旅行など扱う範囲を大幅に拡大したことが特徴的に思えた。展示も大手オペレータ、大手衛星製造会社のブースはむしろ例年より小さくなり、その分スタートアップを含め幅ひろい企業が出展していた。

主な講演

<以下省略>

展示・会場にて

<以下省略>

ちょっと一言

毎年春から初夏に Washington DC を訪問するときの楽しみはチェサピーク湾のソフトシェルクラブ。残念ながら今回の3月末ではまだ少し早かったようで、どのレストランにもソフトシェルクラブのメニューは出ていなかった。ポトマック川に面したシーフードレストランで仕方なく頼んだのは、クラブケーキサンドイッチ。カニの肉を中心に玉ねぎなどを加えてグリルしたものがバーガーのバンに挟まれていた。カニの肉もミンチではなく大きな塊のまま調理されていて歯ごたえも



ある。チェサピーク湾のカニかどうかは不明だが、これはこれでおいしい Washington DC の料理と言えよう。合わせたのはもちろん Washington DC の地ビールである。

本報告書へのお問い合わせは：



株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク

<http://sat-biznet.com>

葛岡 成樹

E-mail: shigeki-kuzuoka@sat-biznet.com

TEL: 080-2052-1348

Euroconsult

ユーロコンサル日本事務所

<http://www.euroconsult-ec.com>

葛岡 成樹

E-mail: shigeki.kuzuoka@euroconsult-jp.com

TEL: 080-2052-1348